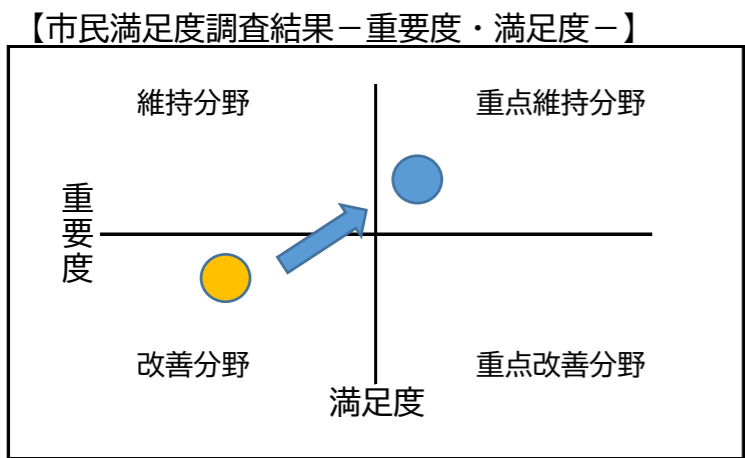


1-① 住みやすい都市空間づくり

【施策の目標】  
誰もが心身ともに健康で働き、住み続けられるまちづくりを目指します。

【現状と課題】

重要度	関連の深いSDGs	達成すべき目標・あるべき姿
↓		誰もが住みやすい居住空間づくりと誰もが使いやすい公共スペースづくりにより、すべての人々が住み続けられる都市空間づくりを推進する。
		特に商店街等の中心市街地における徒歩、自転車通行者と自動車との交通のすみ分けと子どもから高齢者まで幅広く集える広場空間を創造することで、すべての人々が健康で住み続けられるような都市空間づくりを推進する。
		中心市街地の活性化により、働きがいのある雇用が促進できるような空間づくりを推進する。



(写真掲載)

基本目標1 快適空間都市の創造

【関連プロジェクト】

「あ」 今回の調査結果の反映先

【取組】

○ 将来像と基本構想・基本計画及び未来戦略

将来像	まち・ひとともに育ち輝く伊予市
基本的な考え方	まち・むらにあったまちづくりを進めます～まちからむらへ、今から未来へ～
基本構想	快適空間都市の創造【基本目標1】
重点課題	1-1 住みやすい都市空間づくり

○ 本市の現状と課題

○ 第2次総合計画(前期)で掲げる課題

○ SDGs推進プロジェクト委員からの提案

重要度	ゴール	SDGsの目標年(2030年)までに達成すべき目標(あるべき姿)	キャッチコピー(目指す姿)
1位		誰もが住みやすい居住空間づくりと誰もが使いやすい公共スペースづくりにより、すべての人々が住み続けられる都市空間づくりを推進する。	誰もが心身ともに健康で働き、住み続けられるまちづくり
2位		特に商店街等の中心市街地における徒歩、自転車通行者と自動車との交通のすみ分けと子どもから高齢者まで幅広く集える広場空間を創造することで、すべての人々が健康で住み続けられるような都市空間づくりを推進する。	
3位		中心市街地の活性化により、働きがいのある雇用が促進できるような空間づくりを推進する。	

○ 市民満足度調査結果

○ 市民協議会からの提案(市民満足度の低い施策に対して討議、関連内容は別途記載)

市民でできること	コミュニティで取り組むこと	市全体(又は委託先)で取り組むこと

○ 総合計画策定審議会委員の意見(関連分野のみ)

○ 総合戦略(雇用、人の流れ、読書・出逢い・子育て、安全・安心な暮らし)、第2期戦略(国・県)において、付

【市民から一言(市民協議会からの提案)】

詳しくはこちら  
<http://www.city.iyo.lg.jp/●●/●●.html>

